

立石 従寛 | TATEISI Jukan

1986年 シカゴ生まれ

2020年 Royal College of Art ファインアートフォトグラフィー
修士号取得

主な展覧会 |

2019年「沈んだ世界のアンカー」, SPIRAL HALL, 東京

2021年「To The Fog」, KITTE, 東京

2022年「Dive into the Mirage」, Gallery TOH, 東京

URL | <https://jukan.co/>

立石は、仮想と現実、自然と人工など二項対立に挙げられるような概念の境界の融和をテーマに人工知能、立体音響、身体表現を用いたインスタレーションを展開する。人工知能を用いて生成される写真のシリーズは、SNS などにおいて「#」を用いて特定のテーマについて画像を収集、分析、合成したものである。イメージが明確に現れている部分は、そのテーマに対する人々の認識が共通している部分であり、逆に無数の画像の層によって、ぼやけて淡くなる部分は、認識の差異として読み取ることができる。立石はこうした工程を通して、他者との距離を測り直す方法を模索する。



《#aralsea》2020

820×1020 mm, インクジェットプリント, AI 分析による
12,658 の Instagram 投稿イメージ



《Re: kiss》2021

560×560 mm (額装込み),
インクジェットプリント,
不変色インク, AI 分析による
41,024,034 の Instagram 投稿イメージ



《#arcticocean》

2019

1000×1200 mm (額装込み),
インクジェットプリント, AI 分析による 30,001 の Instagram 投稿イメージ